



阿波高新聞

10月号
168号

編集
新聞・文芸部

新聞・文芸部員大募集！
私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入学してください。待っています！
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

こんにちは。新聞・文芸部です。
今月号は、「ちよっと日にちがたってしまいましたか・・・」
先月九月四日に行われた阿波高祭のクラスパフォーマンス特集と、北浦先生へのインタビューです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

◎阿波高祭クラスパフォーマンス特集

全クラスのパフォーマンスを見た新聞・文芸部が各学年の優勝クラスのパフォーマンスの「いいね」ポイントをまとめてみました！来年の参考にしてください！

一年生優勝 14HR

曲 ポカリ鬼ガチダンス

全学年の中でも最高難易度と言われるこのダンスを踊りきった14HR。男子と女子のアシンメトリーな振り付けから、サビに近づくにつれてシンクロしていくところが圧巻でした。



二年生優勝 23HR

曲 ポカリガチダンス

23HRのパフォーマンスの見所は、トラックを大きく使ったところです。水色のポンポンが可愛くて、爽やかな「青春」を感じる振り付けでした。女子の皆さんの向日葵のような笑顔と、男子の皆さんのちよっと照れ笑いしながらも全力で踊っているところが良かったです。



三年生優勝 33HR

曲 Fancy DDUIDU DDDIDU

黒い衣装に身を包み、息の合ったフォーメーションダンスを披露したのは33HRの皆さん。その「妖艶」なダンスに目を奪われました。トラックを大きく使い、瞬く間に変化するフォーメーションと息の合った個々の振り付けは、プロのダンスを見ていたようでした。



クラスや学年の個性を感じるクラスパフォーマンスだったと思います。三年生の皆さんのように、大人の余裕を感じさせるパフォーマンスができるようになりたいものです。来年も無事阿波高祭ができますように……。



◎北浦先生へのインタビュー

今月は、一年四組担任の北浦利枝先生にインタビューさせていただきました。

Q なぜ英語の先生になろうと思ったのですか？
A 英語が好きだったことと、「先生」への憧れがきっかけでした。途中迷った時もあったのですが、教育実習に行き、「なりたい！」という思いが強まり、決意しました。

Q 自分にとって最高の息抜きは？
A いけないと思いつつ、新発売のお菓子や季節の果物を食べることです。
ほかには、消しゴムはんこを作ったり、ミシンで小物作りをしたりと、小さいものを作ることでストレスを解消しています。

Q つらいときや苦しいときはどうしますか？
A つらいときは悲しい歌を聴いて、思いっきり落ち込むか、泣きます。中島みゆきさんの「糸」やKiroroさんの「未来へ」やいきものがかりさんの「YELLOW」などに染みる曲を聴いて、黙って耐えています。

Q 一、二年生に一言お願いします！
A 挨拶をちゃんとしましょう。
授業に集中して、みんなで掃除して、部活動も頑張ってください。そして、隣の人に話しかけて、友だちを増やして欲しいです。毎日「当たり前」と言える行動を大切にできる、素敵な人になって欲しいです。

Q 三年生に一言お願いします！
A 面接練習や試験勉強など、苦しいことが重なる時期こそが、自分が成長できるチャンスです。
今の頑張りや、春からの自分とこれからの未来を支えてくれます。とにかく全力で勉強して、試験までの残った時間を精一杯過ごしてください。

優しい北浦先生が黙って耐えている姿を想像して、悲しくなりました。先生を悲しませないように、勉強頑張ります！北浦先生、お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

それでは、十一月号でお会いしましょう！

